

令和3年別府市11大ニュース

【対象期間：令和3年1～12月】

項	月	事 項 (タイトル)	内 容	部署
1	3	公立小中学校の児童生徒1人1台端末の配備と高速通信ネットワークの整備	国のGIGAスクール構想や、第2期別府市教育大綱に基づくICT環境の整備による「情報活用能力の育成」や「ICT機器を効果的に活用した新たな学び」を推進するため、3月末までに児童生徒1人1台の端末の配備と学校における高速通信ネットワークの整備が完了しました。今後は、これらを踏まえて同月に策定した「別府市学校教育ICT活用推進計画」に基づいて別府市が目指す方向性や独自のビジョンの実現に向けて推進していきます。	教育部
2	4	市内7地域の全てに「ひとまもり・まちまもり協議会」が設立	地域の将来を見据えた地域づくりの活動主体となる「鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会」と「鶴見台ひとまもり・まちまもり協議会」が1日に設立されたことにより、市内7つのすべての地域でひとまもり・まちまもり協議会の体制が整いました。各協議会が課題解決に向けた事業のほか、協議会の拠点整備やスマホ講座などのデジタル活用にも取り組み、特性をいかした住民主体の地域づくりを進めています。	市長公室
3	4	別府市多世代交流健康増進複合施設「おひさまパーク」オープン	別府市初となる多世代交流と健康増進を目的とした別府市多世代交流健康増進複合施設「おひさまパーク」が旧南小学校跡地にて1日にオープンしました。1階は中央保育所、2階は中央保育所・南部子育て支援センター、3階は南部地域交流センター・南部児童館からなり、市民の皆様にも愛され親しまれる施設を目指します。	市民福祉部
4	4	別府市立別府西中学校の開校	山の手中学校と浜脇中学校を統合し、「思いやりを育み、地域とともに歩む学校」をコンセプトにした別府市立別府西中学校を開校しました。新校舎には災害時に避難者用トイレの水としても利用できるプールがあり、屋外マンホールトイレの設置により周辺地域の防災力も向上しました。	教育部
5	4・8	明豊高校野球部センバツ甲子園準優勝・夏の甲子園出場	明豊高校野球部が第93回選抜高校野球大会（センバツ甲子園）に県勢54年ぶり、別府市で初となる決勝進出を果たし、決勝戦の東海大相模戦では2-3で惜敗しましたが、準優勝という輝かしい成績を収められ、さらには第103回全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）への出場も果たし、新型コロナウイルス感染症で疲弊した多くの市民に元氣と感動を与えてくれました。	いきいき健幸部
6	4・8	東京2020オリンピック聖火リレー別府市内走行・東京2020パラリンピック聖火ピジット（別府おもいやりの火）	4月に、新体操日本代表として北京・ロンドンオリンピックに出場した田中琴乃さんをはじめ、市内在住の学生や社会人16名で東京2020オリンピック聖火リレーを行い、消防本部の救急車も警備として参加しました。また、8月には1975年に開催された「第1回フェスピック大会」で使用した、故・中村裕博士ゆかりのレンズと採火方法を継承しつつ、人協働ロボットとともに多様性と新たな共生社会を願って東京2020パラリンピック聖火採火式（別府おもいやりの火）を実施しました。	いきいき健幸部

項	月	事 項 (タイトル)	内 容	部署
7	5 ・ 6 ・ 11	新型コロナワクチン接種と別府市新型コロナウイルス感染症緊急対策	<p>市内医療機関の個別接種会場とべっぴアリーナの集団接種会場で全国民を対象とした新型コロナワクチン接種を行い、感染拡大の抑止による市民の安全、安心の確保に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響から雇用、事業、市民の健康・生活を守るため、予算総額約13億1,450万円の計3度にわたる別府市独自の緊急対策を実施しました。</p> <p>第1弾は、大型連休後に懸念される感染拡大を防止するため、観光客と接する機会の多い事業所等の従業員に対してPCR検査を実施しました。</p> <p>第2弾は、①検査を身近に受けられる環境を整え、感染者の早期発見による感染拡大防止とともに、市民の皆様安心して日常生活を送っていただくことを目的に、旧山の手中学校跡地に抗原検査センターを併設した別府市PCR検査センターの開設、②感染者を早期に発見して感染拡大を防止するため、福祉・学校・観光関係施設などへ抗原検査キットの配付、③低所得の子育て世帯の生活を支援する子育て世帯生活支援特別給付金の給付、④売上が減少している中小企業者等の事業継続を支援するため、店舗等の家賃相当額の1/2を7カ月分助成する中小企業者等家賃応援金の創設、⑤売上が減少した宿泊事業者等への水道料の減免、⑥新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金の期限延長に伴う中小企業事業資金等融資に対する利子補給金の期間の延長を行いました。</p> <p>第3弾は、市民生活の経済支援と消費喚起による市内産業の活性化を図るため、昨年発行・販売した「べっぴみんなにエール券」と同様に1冊5,000円で6,500円分使える「べっぴ帰ってきたエール券」を20万冊発行・販売しました。</p>	観光・産業部
8	5	ラグビー男子15人制日本代表別府合宿実施	ラグビー男子15人制日本代表が2019年秋のW杯日本大会以来の活動を再開し、県内初となる強化合宿を別府市で約2週間実施しました。リーチ・マイケル主将からは別府市民に向けてのメッセージをいただきました。	いきいき健幸部
9	10	別杵速見地域DX推進に関する基本協定の締結	それぞれの知見や経験の活用を図りながら相互に連携協力し、デジタル社会の実現を目指すため、杵築市・日出町・別府市の2市1町で基本協定を締結しました。	企画戦略部
10	10	マーチング・カーニバル in BEPPU 2021 開催	「別府をマーチングの聖地に」をスローガンに掲げて6回目の開催を迎えた今年のマーチング・カーニバルは、海外でも有名な京都橘高等学校吹奏楽部も参加しました。コロナ対策を万全にしたうえで、前日は京都橘高等学校吹奏楽部の単独公演による京都橘MARCHING NIGHT、当日は周辺の公道で行われたオープニングパレードやマーチングコンテストに多くの市民の皆様が楽しみました。	観光・産業部
11	11	新しい市営亀川住宅竣工	市営亀川、内竈、浜田住宅の集約建替で、新しい市営亀川住宅が11月に竣工しました。PFI法に基づいて建替え住宅の設計、建設、工事監理及び入居者移転支援業務を行っています。令和4年に既存住宅の解体を予定しています。	建設部